

「今」と「未来」のために、今私たちができること [目標12] つくる責任 つかう責任

エス・ディー・ジーズ



3R

リデュース ▶ ごみを減らす
リユース ▶ 繰り返し使う
リサイクル ▶ 資源として再生利用する

エシカル消費

人や社会、環境に配慮した
ものやサービスを選んで
消費すること
→フェアトレード商品や被災地産品、福祉施設で作った製品の購入など

「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が「**自分のこと**」として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

資源やエネルギーを大量に使って大量にものを生産し、大量に消費して大量にごみを捨てている私たちの生活は、地球に大きな負荷をかけています。このままでは、石油や木材、水などの限りある地球の資源が枯渇し、気候変動へのさらなる影響が懸念されています。

持続可能な生産と消費を実現するためには、限りある資源を有効に活用して効率的に生産し、賢く消費・利用して廃棄物を極力減らしていくことが重要で、生産者と消費者それぞれが責任をもって行動していくことが求められています。

この目標では、使う分だけを買う、使い切る、再利用するなど、すぐに取り組めることがたくさんあります。未来のためにも今日から意識して取り組んでみましょう。

日常生活でできる取り組み

○ 3Rの推進 *／ 今日からやってみよう！*

- ・必要のないものは買わない
- ・長く使える製品を買う
- ・古くなったものを修理して使う
- ・詰め替えができる製品を選ぶ
- ・分別を徹底する
- ・リサイクル製品を選ぶ
- 食品ロスを減らす
- 地産地消に心掛ける
- シェアリングサービスを活用する

市の取り組み

- 廃棄物減量化対策事業
→資源ごみの拠点回収や食品ロス削減活動などにより廃棄物の発生を抑制